

# 質 疑

## 予算や条例等に対する質問

**質問した議員**  
平田文夫・小野昌士  
是津輝和・斎藤幸広



**休日出勤への対応は？**  
平田議員 労働基準法第36条では、一日8時間週40時間、残業時間は一月45時間と定められている。本町もこの範囲内で職員組合と労使協定を結び、監督官庁に報告していると思う。  
休日出勤の振替や割増賃金についてどのように検討したか。  
総務課長 検討会議の場で検討したが、詳細の内

**人事管理について？**  
平田議員 本町は改革を進めている。私が言う前に心の通う人事管理を職

**財政調整基金の積立金の用途は？**  
小野議員 人件費の減額6800万円の内、5000万円を積み立てたことだが、今後、補正予算で事業に使う用途があるか。  
企画財政課長 今の段階では、はっきりした目途はない。  
小野議員 災害、大規模事業、歳入欠陥補填財源として基金積立は理解す

員全員一丸となって取り組み、将来の町づくりに生かすべきと思うが、副町長の考えは。  
副町長 本町の職員組合からも同じ指摘を受け、課長にも、課長会を通じて職場におけるマネージメントコントロールが問われていることを周知し総残業時間の圧縮に対して結果を出すこととしており、もう少し我々の取り組みを見ていただきたい。

人口を一人でも減らさないことを考えた政策や財政運営を今すぐ取り組むべきだ。  
町長 将来の諸事業と交付税一本算定(合併特例切れ)等を考えれば基金は必要である。ただ、町内の経済環境は厳しいことも強く感じており、なにが出来るか検討し、早急に基金取崩しを含めて行動する。



◇町職員の勤務時間に関する条例改正、及び町職員の育児休業等に関する条例の改正  
育児休業法の改正により、育児休業が出来る職員の範囲等の改正を行うもの。  
◇職員の給与に関する条例の改正  
職員の給与を支給する際、給与から控除できる範囲を定めるもので、職員の給与を3%〜9%の賃金カットを行うもの。

平成21年度の各事業の実績や交付税・補助金等が確定したことにより予算を調整し、一般会計の予算総額は165億3200万円となった。歳入の主なもの地方交付税(特別交付税)が1億9800万円、自動車重量贈与税や固定資産税等が23000万円余り増額しているが、国庫支出金、地方債(借金)等は減額となっている。



歳出では、各事業の実績等により予算を調整して剰余金を見込み、財政調整基金に1億9300万円、地域振興基金に1億8500万円、総額で3億7800万円を基金に積立した。

**□21年度事業を22年度に繰越**  
地域活性化のため、平成21年度に国から交付のあった、地域活性化臨時交付金(経済危機対策・公共投資・きめ細かな交付金)や、地域情報通信基盤整備のための交付金等、一般会計分で総額17億468万円、合計21の事業を平成22年度に繰越し実施する。

**■人権擁護委員の推薦**  
原田地区の上野卯之松氏が9月30日で任期満了となるため、後任として、竹林行政氏を推薦することに同意。



# 専決処分

平成21年度一般会計と各特別会計の補正予算  
**3億7800万円**  
基金に積立



地域活性化交付金制度を各自治会等に説明!

# 一般質問

4人の議員が松田町政をたず

質問した議員  
安部和子・福田 晃  
安部大助・前田芳樹



前田芳樹議員



安部大助議員



福田 晃議員



安部和子議員

議員 「ふるまい」とは、礼儀・作法・挨拶・しぐさ・思いやり等であるが「子どものふるまい」「親のふるまい」が重視され

教育長 本年度は、県が乳幼児期の教育・子育て支援を目的に「ふるまい向上プロジェクト」を創設しており、この事業を視野に入れ、学習機会を設けたい。

議員 「現代の子どもの心と体は急速にバランスを失いつつある。」と医学専門家も指摘し、自覚症状は身体の疾患によるものではなく「こころ」の問題によるものが大半であると分析されている。

## 安部和子議員

◎子どもの不登校対策は  
◎がん対策推進条例の制定を

◎がん対策推進条例の制定を  
議員 平成18年9月に島根県は「がん対策推進条例」を制定し、がん医療の水準の向上、情報の提供・予防、及び早期発見の推進と患者に対する緩和



る。県から言われてやるのではなく、自ら進んで取り組むことが必要だ。教育長 教育の根幹は「心の教育」と考える。私の想いは学校の先生方には伝わっている。今後、公民館事業の中で乳幼児教育支援を行う。

町長 がんの予防として生活習慣の中から発生を根本的に防ぐことが第一

次予防だ。健康教室や相談を通じて見直しに努めている。第二次予防は早期発見・早期治療の受診だ。街頭キャンペーンや事業所訪問等を通じ受診の呼びかけを展開する。議員 対策に取り組んでいることは理解できるが総合的な推進を図ることが必要だ。町では唯一、民間組織ががん患者緩和ケア「おきたんぼ」が活動している。行政の踏み込んだ一歩が必要だ。町長 各事業所の協力が必要であり、今後のあり方を検討する

ケアの推進等、力強く展開している。しかし、がんによる死亡率は全国2位と高い。中でも県内7つの圏域別に隠岐圏域がトップである。行政として「隠岐の島町がん対策推進条例」を制定し、総合的にがん対策活動の後押しを図るべきだ。

町長 がんの予防として生活習慣の中から発生を根本的に防ぐことが第一

ケアの推進等、力強く展開している。



ハローワークでの就労相談

生活困窮者 自立支援事業は？  
是津議員 生活保護受給者で就労可能な人への就労支援対策として「就労支援員雇用費」が計上されているが、町内に支援を受けたい対象者は何人いるか。また、9か月以降の支援体制は。

是津議員 支援員の仕事の内容は何か。福祉課長 ハローワークへ同行したり、履歴書の書き方の指導、面接指導関係機関への情報収集等である。是津議員 支援員の方の空いた時間を活用して、知的障がい者等への就労支援は出来ないか。福祉課長 地域の実情に即した勤務体系を取るよう求められているので空き時間は発生しないと思われる。

生活困窮者 自立支援事業は？

是津議員 支援員の仕事の内容は何か。

がんばる地域 応援総合事業は？

斎藤幸議員 事業の目的と事業内容は。水産振興室長 この事業は県の単独事業で、事業主体はJFしまね、総事業費は1360万円、その内、2分の1の680万円を補助する。目的は、ズワイガニの資源保護と、隠岐松葉ガニとしての付加価値を高め魚価の向上を目指す。事業内容は、①海底に放置された籠などの漁具を回収し漁場を整備する。②籠に小型ガニの脱出を容易にするリングを装着し資源保護を図る。③大型ガニに「隠岐松葉ガニ」と記載したタグを装着し付加価値の向上を図る。斎藤幸議員 隠岐のカニ籠漁の漁場は、一部、鳥取県の底引きカニ漁と重なっていることだが島根県は鳥取県と連携した資源保護に取り組んでいるか。

6月14日に第3回臨時議会が開催され、次の3件の契約案件を可決・承認した。

## 第3回臨時議会

水産振興室長 国でズワイガニの漁獲高の総量規制という形で資源保護対策が取られている。



- ▽公共下水道工事 (中町名地内)
  - ・請負金額 6804万円
  - ・請負業者 (株)吉崎工務店
- ▽公共下水道工事 (栄町地内)
  - ・請負金額 5040万円
  - ・請負業者 (株)竹田組
- ▽五箇小学校校舎 耐震補強工事
  - ・建築主体工事 2億1787万円
  - ・請負業者 (株)金田建設
- ・給排水設備工事 5880万円
- ・請負業者 (株)野村水道工業所
- ・屋内運動場 7350万円
- ・請負業者 (有)山本工務店

工事期間中の安全確保を！



耐震補強工事で教育環境の整備を

## ◎「コンクリートから人」ではなく「コンクリートも人も」の政策を

### 福田 晃議員

議員 15年度で130億円あった公共事業費が21年度は60億円と大幅に削減され、公共事業への依存から抜け出せない我が町では大変な事態となっている。昨年9月発足した現政権の「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズの下、政府は今年度予算で事業費を18・3%減らした。今年度に入り建設会社においての廃業、事業の縮小により従業員の解雇が始まり、今後の生活に大変不安を持っている。町長として公共事業に代わる産業ビジョンを示し、新たな雇用創出は重要であるし、「コンクリート」と「人」との結びつきが強い隠岐の島町においてバランスを失えば町民生活へのダメージは計り知れない。次の2点について町長に

伺う。

①公共事業が激減している中、休止となっている林道事業の再開や各観光地への道路整備等、冷えた業界を支える思い切った策を取り入れる考えはあるか。  
②17年度に最低制限価格を未設定とし、また19年からは2500万円以上については低入札価格調査制度を導入したが低価格での過剰な工事受注競争を抑えるため、最低制限価格制度を採用すべきだ。

町長 ①本町は、公共事業への依存度が大きい町だが、現下の我が国の経済を見ると、これまでのような公共事業の展開は望めない。隠岐病院建設下水道整備等をはじめとする数々の事業に相当額の財政負担が予想され、将来においても現在の行政サービスの維持の財源

確保は必要不可欠である。建設事業費を年々縮小すれば町の景気は冷え込むばかりだ。今回積立てた1億8500万円を本年度と来年度の単独事業の財源として、必要で急ぐ事業の選択をし、9月補正、または、来年度当初予算で計上する。  
②公共事業が減少している中、過激な価格競争はなく、適正な入札が執行されている。提案の最低制限価格の採用は、指名審査会で協議を重ね対応する。



公共事業で雇用対策を

## ◎若者の意見集約は◎本土出産の支援を

### 安部大助議員

◎若者に対する期待と意見集約は

議員 私は、協働による町づくりを目指すのであれば、これからは若者も町づくりに参加し、町政に興味を持ってもらいたいと思っています。  
町長は、20代、30代の若者に何を期待し、町政に臨んでいるか。また、若者の意見をどのように集約しているか。  
町長 若者には、地域・職場など様々な場で、若者らしい自由な発想と豊かな感受性を活かした活動を展開して欲しいし、行政に対する点では、各種計画策定の審議会などに積極的に参加して頂き町の活性化の一翼を担っていただきたい。  
現状では若者に限定した意見集約は行っていない

いが、今後、若者向けの町づくり懇談会等を検討してみたい。  
◎本土出産の支援を  
議員 隠岐の島町では、初産婦やリスクのある妊婦さんなどは、本土での出産しており、出産される妊婦の方々にとって心身ともに大きな負担となっている。  
今後、出産を控えている方々の心と身体の負担を軽減するため、町の支援について町長はどう認識しているか。  
また、一人でホテル暮らしをせざるを得ない妊婦の方々は緊張と不安で近くに家族がいてくれたらという気持ちになる。  
町は、家族のレイン泊プラザでの5日分の宿泊費を負担しているが、それだけでは足りないと思うが、町長の考えは。



安心して出産出来る体制整備を急げ

## ◎水産業の振興支援策は◎町道の管理責任体制は◎農業公社の労働審判は

### 前田芳樹議員

◎水産業の振興支援策は 議員 運搬船・姫島丸が老朽化して更新時期となっている。漁業は衰退し激減している。水産業をこれ以上衰退させないために支援策はとれないか  
町長 JFで検討中だが本町としても支援の検討をしている。

議員 姫島丸更新は、交付金とは別の制度資金でやるべきではないか。  
町長 総事業費が約3億円とすれば、国が2分の1・残り2分の1を町が負担するから心配ない。議員 島の漁業集落と沿岸漁業の衰退は著しい。水産業費での平均給与は7,337,000円の優秀な職員が5人配属されているが、その人材活用方法と沿岸漁業衰退抑止策をどう考えるか。



姫島丸の更新は!

町長 隠岐の島ブランド確立と積極的なPR活動と職員が交渉の窓口となり販路開拓拡大に努める。

◎町道の管理責任体制は 議員 道路の上を覆う雑木が町道・林道のうちどこにもある。高所作業車で道路幅員の上空5mの高さまでは視界良好にしておくべきだ。町道・林道の管理者賠償責任を問われないよう、カーブの内側と道路を覆う雑木は伐採除去し、常に視界良好

に管理すべきで、その管理責任体制は確立されているか。  
町長 計画的な路線点検と住民情報入手しながら迅速に対応するよう指示し、基本的な管理体制は整っている。

◎農業公社の労働審判は 議員 か弱い農業公社職員たちの権利擁護が斟酌されないままのうやむやな調停案では和解は成立しない。時間と財源を浪費しての混乱を町民は喜ばない。感情的かたくなな姿勢を少し改めて聞く耳を持ち、公社職員たちの最低限の労働基本権・生存権を認めて和解をし泣く者を出さずに、迫り来る農業の崩壊・耕作放棄地の拡大に協調して対処してくれることを町民は喜ぶはず。この労働審判に、今後どのような姿勢で対処していくのか。  
町長 審査委員長が和解協議を打ち切る陳述をした。労働委員会が方向が出されるのを待って、それを真摯に受取って行く。

## 総務産業建設常任委員会

### 委員長 石田茂春

当委員会に付託された議案は審議の結果、「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

## 審査の状況

### ◆補正予算関係

▽五箇中央簡水第一水源補償工事は、国道485号線改良工事で山田地区のトンネル掘削中に水脈を破損し、水源が枯渇したので、その代替水源と管路工事をするもの。



期待される「かっぱ遊覧」

### ◆条例関係

▽隠岐の島町観光遊覧船に関する条例の制定は、ローソク島観光や八尾川観光などの遊覧船の名称や利用料金を定めるものである。  
八尾川かつぱ観光遊覧船事業は、利用者を増すため団体割引制度や地元町民にも利用して理解と協力・PRをしていた。たぐためにも町民割引制度等を検討すべきであることと指摘した。

### ◆調査事項

▽布施地区に木質バイオマス実証プラントが完成し、現地視察を行なった。運転は、国の補助金が交付決定次第に可動する。将来、隠岐の新しい産業振興・雇用確保につながることを期待する。



雇用に繋がるかバイオマス事業!

▽光ファイバー通信網整備工事は、利用者の利便性を図るため、供用開始は、接続が出来たところから、順次、速やかに実施するよう指摘した。

# 教育民生常任委員会

委員長 安部 和子

当委員会に付託された議案は審議の結果、全会一致で「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

## 審査の状況

### ◆補正予算関係

▽八角部屋隠岐合宿補助金は、諸般の事情により中止される結果となった。委員からは、「事業が中止になれば減額修正すべきである。」郷土力士支援のため、何らかの形で残すべきではないか。」等の意見があり、教育委員会部局でも再協議した。結果は、引き続き郷土力士支援のため、隠岐合宿の実現を期待することとし内容を変更して承認した。

### ◆調査事項

▽五箇小学校校舎並びに屋内運動場の耐震及び改修工事は、地元住民に工事の概要や工程等の周知を図ると共に、工事期間中の児童生徒の安全を確保するよう指摘した。



耐震補強工事のため完成した仮校舎



公民館のあり方は！

▽公民館のあり方は、中央公民館制度としての方向性は出ているが、十分に審議が尽くされていない。中央公民館制度上の各地区公民館の運営やあり方の方向性が定まっていけない。平成23年度からの方針決定に混乱をきたさぬためには、9月を目途に一定の方針を示すよう強く求めた。

# 総合交通対策特別委員会

委員長 斎藤 昭一

西ノ島町に出向き、議会議長と観光課長にお会いし、西ノ島町路線バスの現状を調査した。

西ノ島町は、昭和46年に一畑バスが運行停止しその後、町が引き継ぎ町営バスとして運行している。しかし、乗客の減少により路線を徐々に減便し、平成13年、町営の路線バスを廃止した。

それに代わり、町内幹線路線とスクールバスを委託業者に運行業務を移譲し、末端部路線はタクシー会社に依頼している。現有車両は5台、29人乗り、白ナンバー、一番古い車両は平成3年に購入している。

観光用には、町内の業者である「隠岐観光」が営業ナンバー5台の大型車で営業している。

今後、スクールバスは



利用しやすい公共交通システムは

学校統合に伴い学校専用計画している。

平成21年度に町の路線バス運行に要した経費は4500万円、委託料の内訳として、運行費では人件費、燃料費、車両修繕費、町所有車両減価償却費、自動車税、任意保険、備品消耗品費などの経費や管理費などがあり年々増加傾向にある。

延べ走行距離は、日計122km、ちなみに隠岐の島町は922kmである。車庫は町が建設して管

理しており、メリットとしては、運転手の社員教育が徹底していて、車両の日々の管理は以前より行き届き、業務前日の飲酒制限や接客態度の向上が見られる。

今後は、業務委託の方法を指定管理者とするよう島根県・市町村課から指摘を受けている。

隠岐の島町地域公共交通会議では、現状分析、課題、問題点等を検討し見直し作業などを行っているが、今後、実際に運行する業者の選定作業に入ることで、作業の進展を注視し、更に調査研究する。

# 行財政改革特別委員会

委員長 平田 文夫

第二次行財政改革大綱では、外郭団体等を取り巻く環境の変化を踏まえ外郭団体等が実施している町の補助事業や委託事業等について再検証することとしている。

中でも比較的多額の補助金や委託金を支出している隠岐の島町社会福祉協議会について、団体のあり方・運営等について当面、調査研究することとした。



社協職員と意見交換する常任委員会



デイサービスで楽しいひとときを！

第二次隠岐の島町行財政改革大綱の実施計画はプロジェクト会議で検討しており、担当課から実施計画案が説明された。多少の質疑は行つたが当委員会だけではなく、議会全体に説明して議論するよう指摘した。



中村デイサービスを視察

隠岐の島町社会福祉協議会と意見交換をすべきとの意見もあり、6月16日に町社協の事務所に向向き意見交換会を実施し議論が広範囲にならないよう、①組織及び体制について、②地域福祉活動の考え方、③介護保険事業についての3点にしほり意見交換や施設の視察を行った。

今後は、これら意見交換の内容をもとに、更に調査研究する。

# 隠岐広域連合議会報告

是津 輝和

平成22年第1回臨時議会が3月30日に、平成22年第2回定例会が5月27日に開催され、条例関係が8件、副広域連合長の選任同意が2件予算関係9件が提案されいづれも全会一致で可決承認した。

冒頭、松田連合長からは、島前病院の外科医師欠員に伴い、知夫村が無医村となるなど、島前地区の医師不足が深刻であり、医師招聘に全身全霊で取り組むこと、また、老朽が激しい消防庁舎、仁万の里の整備に積極果敢に取り組む旨の決意表明があった。

条例関係は、月60時間超の時間外勤務手当の支給割合を一〇〇分の一五〇に引き上げるもの、また、月60時間超の時間外勤務をした職員に代休を与える改正や、職員給与



まもなく工事が開始される隠岐病院

を1%〜9%カットするもの、隠岐病院新築整備事業において起債や補助金の対象外の医療機器等を整備するために、一般の方々から寄付金を募る条例の制定等である。

選任同意案件は、永原淳隠岐支庁長と山内道雄海士町長の副連合長への選任同意を求めるもの。予算関係では、松江の「レインボープラザ」の妊

産婦宿泊室設置に伴う収益圧迫に対する補填として、指定管理料を635万円増額するもの、21年度決算見込みによる予算の調整、島前病院の眼科医療機器の故障による機器購入費511万円の増額補正、隠岐病院新築事業の事業費単価の見直しと建築面積等の増加による、2億2681万円の増額補正である。

審議では、レインボープラザの指定管理者に対して、更なるサービス向上、集客アップの経営努力をするように、行政に対しては、職員等関係者の利用促進に取り組むようとの意見があり、連合長は、「そのように対応していく。」との答弁があった。

また、隠岐病院新築に伴う備品整備のための寄付金募集要綱案では、1口1万円と提案されたが、多くの議員から、もっと低額にして広く島民から募集するようにとの指摘もあり、検討することとした。

# 皆さんの陳情や要望

## ◆採択と

したもの

■隠岐の島町所有の  
遊休地借用の陳情

・提出者

社会福祉法人「博愛」

理事長 吉田雅紀

【理由】現在の「みんなの作業所」施設の用地も町有地を無償で貸付けているが、今回の陳情の土地も隣接しており、町としても公共的利用計画もないため、支障ないものとして認め、全会一致で「採択」とした。



障がい者支援のための遊休地利用

## ◆趣旨採択と

したもの

■事業存続のため経費負担の適正化及び車両の更新について、平成22年補助年度より適用を頂きたい要望

・提出者

隠岐一畑交通株式会社  
取締役社長 春日稔和

【理由】地域公共交通会議において生活路線バス等の運行方法及びダイヤ等の方針が検討され、本年度試行運転が実施されようとしている。隠岐一畑交通は、島民にとっては生活路線バスである。地域公共交通会議で、「次年度の運行方針が定まっていない状況で採択とするのは早すぎるのでは」との意見もあったが審査の結果、賛成多数で「趣旨採択」とした。

## ◆継続審査と

したもの

■島内の高等学校に学ぶ生徒に対する学習と生活支援についての陳情

・提出者

県立隠岐高等学校校長  
同PTA会長、隠岐水産高等学校校長、同PTA会長

【理由】近年のわが国の経済状況は厳しく、わが校でも月々の学校徴収金の負担が困難な家庭も増加しつつある。更に、保護者のもとを離れての寮生活は、家庭の経済的負担をより大きくしており将来を担う生徒育成のために支援してほしいというものであり、所管の教育民生常任委員会では、実態の把握や県の動向など、調査研究の必要があることから、全会一致で「継続審査」とした。



議会事務局

職員の人事異動

局長補佐 田中順子

4月の人事異動により議会事務局に配属されました田中順子です。

議会事務局のスムーズな運営が出来るよう頑張ります。よろしくお願いたします。



## 編集後記

7月11日からの梅雨前線の影響で、町内にも各地区に被害が出た。11日深夜には都万地区で避難勧告が出たが2時間半後には解除された。

箕浦地区では町道の法面が崩壊し道路を寸断して孤立状態となったが一日も早い復旧が望まれる。

災害に遭われた皆さんにお見舞いを申し上げます。

梅雨も明け、いよいよ本格的な暑さが到来しますが、町民の皆さんには健康には十分に気をつけてお過ごし下さい。

(文責 高宮)

## 訂正とお詫び

議会だより4月号で、議会傍聴にいられた児童の皆さんの説明を「有木小学校」と記載しましたが、「中条小学校の児童の皆さん」でした。訂正してお詫びいたします。